1. 化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

製品の形態 : 混合物

製品名 : Reducompact

1.2 推奨用途及び使用上の制限

1.2.1 推奨用途

工業用／業務用 : 工業用；専門業者専用

用途 : 園芸用温室の遮光塗料

1.2.2 使用上の制限

追加情報なし。

1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号

製造者	製造者
Lumiforte EMEA B.V. Geerstraat 8 5111 PS Baarle-Nassau オランダ 電話 +31 (0)13 507 53 99 safety@lumiforte.com www.lumiforte.com	Lumiforte EMEA SAS 1 Rue Gaston Monmousseau 38130 Echirolles フランス 電話 +33 (0)4 76 23 20 54 safety@lumiforte.com www.lumiforte.com

1.4 緊急連絡電話番号

機関／サービス	所在地	緊急電話	受付時間／備考
公益財団法人 日本中毒情報センター 大阪中毒 110 番	大阪府箕面市船場西 2-2-1 〒562-0036	+81 72 727 2499 （国内：072-727-2499）	365 日 24 時間、一般向け。日本語対応。他言語対応は未確認。
公益財団法人 日本中毒情報センター つくば中毒 110 番	茨城県つくば市天久保 1-1-1 〒305-0005	+81 29 852 9999 （国内：029-852-9999）	365 日 24 時間、一般向け。日本語対応。他言語対応は未確認。

2. 危険有害性の要約

2.1 化学品の GHS 分類

JIS Z 7252:2025 による分類：水生環境有害性 短期（急性）区分 3（H402）。

有害影響：水生生物に有害。通常の産業衛生管理を遵守する場合、特定の物理化学的又は健康有害性は予想されない。

2.2 GHS ラベル要素

絵表示 : 不要

注意喚起語 : なし

危険有害性情報 : H402 水生生物に有害。

注意書き : P273 環境への放出を避けること。
P501 内容物／容器を地方自治体及び国の法令に従って廃棄すること。

2.3 GHS 分類に該当しない他の危険有害性

低濃度のブロノポール及びイソチアゾリノン系保存剤（BIT 及び CMIT/MIT）を含有する。既に感作されている人ではアレルギー反応を起こす可能性がある。不要な皮膚接触及びスプレー／ミストの吸入を避ける。

湿った漏出物は床を非常に滑りやすくする。

3. 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別

混合物。

3.2 成分情報

正確な配合は営業秘密である。危険有害性情報伝達又は職業ばく露管理上関連する成分のみを記載し、原料の商品名は使用しない。

化学名	識別情報	含有量（質量%）	成分の GHS 分類／有害性情報
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	CAS：919-30-2	0.1 - <1	急性毒性（経口）区分 4；皮膚腐食性 区分 1B；眼に対する重篤な損傷性 区分 1；皮膚感作性 区分 1B
アンモニア水	CAS：1336-21-6	<0.1	急性毒性（吸入）区分 4；皮膚腐食性 区分 1B；眼に対する重篤な損傷性 区分 1；特定標的臓器毒性（単回ばく露）区分 3；水生環境有害性 急性区分 1、長期区分 2
硫酸モノ(C12-14 アルキル)エステルナトリウム塩	CAS：85586-07-8	0.1 - <1	急性毒性（経口）区分 4；皮膚刺激性 区分 2；眼に対する重篤な損傷性 区分 1；水生環境有害性 長期区分 3
高度精製鉱油	CAS：64742-52-5	0.1 - <1	誤えん有害性 区分 1；供給者は高度精製油であることを確認
2-ブロモ-2-ニトロプロパン-1,3-ジオール（ブロノポール）	CAS：52-51-7	<0.1	急性毒性（経口）区分 4；皮膚刺激性 区分 2；眼に対する重篤な損傷性 区分 1；皮膚感作性 区分 1；特定標的臓器毒性（単回ばく露）区分 3；水生環境有害性 急性区分 1（M=10）、長期区分 2
1,2-ベンズイソチアゾール-3(2H)-オン（BIT）	CAS：2634-33-5	<0.1	急性毒性（経口）区分 4、（吸入）区分 2；皮膚刺激性 区分 2；眼に対する重篤な損傷性 区分 1；皮膚感作性 区分 1A；水生環境有害性 急性区分 1、長期区分 1
CMIT/MIT 反応混合物（3:1）	CAS：55965-84-9	<0.1	急性毒性（経口）区分 3、（経皮／吸入）区分 2；皮膚腐食性 区分 1C；眼に対する重篤な損傷性 区分 1；皮膚感作性 区分 1A；水生環境有害性 急性区分 1（M=100）、長期区分 1（M=100）

化学名	識別情報	含有量（質量%）	成分の GHS 分類／有害性情報
グリオキサール	CAS：107-22-2	<0.1	急性毒性（経口／吸入）区分 4；皮膚刺激性 区分 2；眼刺激性 区分 2；皮膚感作性 区分 1；生殖細胞変異原性 区分 2
その他の非危険有害成分及び水	機密混合物成分	残量	製品中濃度では区分に該当しない

上記含有量は公開用範囲であり、正確な機密配合ではない。製品分類は正確な配合、提供された原料 SDS 及び適用される国別混合物規則により計算した。

4. 応急措置

4.1 応急措置の説明

一般的措置 : 意識のない人に口から何も与えない。気分が悪い場合は医師の診察を受け、可能であればラベル又は本 SDS を提示する。

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休ませる。症状が続く場合は医師の助言を求める。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぐ。露出した皮膚を低刺激性石けんと水で洗い、温水ですすぐ。衣類は洗濯してから再使用する。

眼に入った場合 : 直ちに多量の水で十分に洗眼する。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗浄を続ける。痛み又は発赤が続く場合は受診する。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。無理に吐かせない。気分が悪い場合は中毒情報センター又は医師に連絡する。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

直接接触により一時的な眼又は皮膚の不快感を生じることがある。既感作者は微量保存剤に反応する可能性がある。飲み込むと悪心又は腹部不快感を生じることがある。

4.3 医師に対する特別な注意事項

対症療法を行う。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤 : 泡、粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧又は砂。周辺火災に適した消火剤を選択する。

使ってはならない消火剤 : 強い棒状注水は使用しない。

5.2 特有の危険有害性

製品は引火性ではない。加熱又は火災により、一酸化炭素及び二酸化炭素を含む刺激性又は有毒な煙が発生することがある。

5.3 消火を行う者の保護

火災にさらされた容器を水噴霧で冷却する。自給式呼吸器及び完全防護衣を含む適切な保護具なしに火災区域へ入らない。汚染された消火水を排水又は環境へ流出させない。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

6.1.1 非緊急対応要員

区域を換気し、不要な人員を退避させる。皮膚及び眼との接触並びにスプレー／ミストの吸入を避ける。

6.1.2 緊急対応要員

適切な保護具なしに対応しない。8 項に記載の個人用保護具を使用する。

6.2 環境に対する注意事項

環境への放出を避ける。排水溝又は公共用水域に流入させない。大量の漏出が下水又は地表水に到達した場合は所轄当局へ連絡する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

粘土、砂又は珪藻土等の不活性物質で吸収し、適切な密閉容器に回収して廃棄する。残留部を水で洗浄するが、無制御の排出を防ぐ。湿った残留物は非常に滑りやすい。

6.4 他の項目の参照

ばく露防止及び保護措置は 8 項、廃棄上の注意は 13 項を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

作業場所の換気を十分に行う。不要なばく露及びエアロゾル／ミストの発生を避ける。飲食、喫煙又は作業場所を離れる前に、手及び露出皮膚を低刺激性石けんと水で洗う。本製品の使用中は飲食又は喫煙をしない。

7.2 安全な保管条件

保管条件 : 元の密閉容器に入れ、換気の良い場所で 0-30 °C で保管する。凍結、直射日光及び 30 °C を超える温度から保護する。

混触危険物質 : 強酸及び強塩基。

避けるべき条件 : 0 °C 未満又は 30 °C 超の温度；直射日光；凍結。

7.3 特定の最終用途

園芸用温室の業務用遮光塗料。製品の施工説明書に従う。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度・許容濃度等

混合物としての許容濃度は設定されていない。アンモニア及び該当成分に関する日本の適用基準を遵守する。製品は高粘度液体であり、主なばく露は施工時のスプレー／ミストとして生じ得る。

8.2 ばく露防止

8.2.1 設備対策

十分な全体換気を行い、必要に応じて局所排気を使用する。エアロゾルの発生を最小限にする。手洗い及び洗眼設備を設ける。

8.2.2 保護具

眼／顔面の保護	：	飛散のおそれがある場合、化学用ゴーグル又は保護眼鏡を着用する。
手の保護	：	適切な保護手袋を着用する。作業内容及び供給者の推奨に従い材質と破過時間を選定する。
皮膚／身体の保護	：	適切な保護作業服を着用する。汚染された衣類は脱ぎ、再使用前に洗濯する。
呼吸用保護具	：	十分な換気があれば通常不要。スプレー又はミストを管理できない場合は適切な呼吸用保護具を使用する。
熱危険	：	意図した使用では特別な熱危険は予想されない。

8.2.3 環境ばく露防止

排水、土壌、地表水及び地下水への無制御の放出を防止する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質

物性項目	値
物理状態	液体
色	青色
臭い	特異臭
臭気閾値	データなし
融点	データなし
凝固点	0 °C
沸点／沸点範囲	データなし
可燃性	不燃性
爆発特性	予想されない
爆発下限／上限	データなし
引火点	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
pH	7-8
動粘性率	約 1980.198 mm^2/s
粘性率	約 2000 mPa·s
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度	約 1.01 g/cm^3
相対蒸気密度	データなし
粒子特性	非該当（液体）

9.2 その他の情報

安全上関連する追加情報なし。本製品の VOC 含有量は測定していない。

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

通常の使用、保管及び輸送条件では反応性はない。

10.2 化学的安定性

推奨される取扱い及び保管条件で安定である。

10.3 危険有害反応可能性

通常の使用条件では危険な反応は予想されない。

10.4 避けるべき条件

直射日光；凍結；0 °C 未満又は 30 °C を超える温度。

10.5 混触危険物質

強酸及び強塩基。

10.6 危険有害な分解生成物

火災時：煙、一酸化炭素及び二酸化炭素。

11. 有害性情報

11.1 有害性項目

有害性クラス	Reducompact の評価
急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入）	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない；pH 7-8、成分濃度は適用される混合物分類閾値未満
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分に該当しない；pH 7-8、計算した成分寄与は適用閾値未満
呼吸器感作性又は皮膚感作性	区分に該当しない。低濃度の保存剤を含み、既感作者は反応する可能性がある。
生殖細胞変異原性	区分に該当しない；グリオキサールは混合物分類閾値未満
発がん性	提供された原料情報に基づき区分に該当しない；鉱油は供給者により高度精製と確認
生殖毒性	区分に該当しない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分に該当しない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分に該当しない
誤えん有害性	区分に該当しない；動粘性率約 1980.198 mm^2/s、鉱油濃度 1%未満

提供された原料 SDS に基づく主要成分評価

主要成分群	毒性評価
3-アミノプロピルトリエトキシシラン及びアンモニア	濃縮原料は腐食性／刺激性を有するが、最終濃度及び製品 pH は混合物分類を生じない。
C12-14 アルキル硫酸塩界面活性剤	濃縮物では刺激性／眼損傷性。製品中濃度は関連する混合物分類閾値未満。
ブロノポール、BIT 及び CMIT/MIT 保存剤	濃縮物では有害かつ感作性。製品中では低濃度で分類閾値未満。既感作者は反応する可能性がある。
高度精製鉱油及びグリオキサール	鉱油は高粘度混合物中 1%未満。グリオキサールは変異原性及び感作性の分類閾値未満。

11.2 その他の有害性情報

内分泌かく乱特性に関する追加情報なし。正確な配合による計算に基づき、本製品は記載した健康有害性の分類基準を満たさない。

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

加算法により水生環境有害性 短期（急性）区分 3（H402）に分類する。長期有害性の分類閾値は満たさない。

成分／寄与	水生環境有害性評価
アンモニア	成分として水生環境有害性 急性区分 1；製品中アンモニア約 0.07%。
ブロノポール	水生環境有害性 急性区分 1（M=10）；製品中約 0.02-0.05%。
CMIT/MIT（3:1）	水生環境有害性 急性区分 1（M=100）；製品中約 0.00101%以下。
BIT 及びその他の微量保存剤寄与	成分として水生環境有害性 急性区分 1；製品中濃度は低い。
混合物結果	急性加算法により水生環境有害性 急性区分 3（H402）。長期有害性の分類閾値は満たさない。

12.2 残留性・分解性

製品固有の残留性は確立していない。複数の有機成分は原料 SDS で生分解性が報告されている。

12.3 生体蓄積性

Reducompact について未確立。

12.4 土壌中の移動性

製品固有の情報なし。

12.5 PBT 及び vPvB 評価の結果

製品固有の PBT 又は vPvB 評価なし。提供資料は、関連濃度で意図的添加成分を PBT 又は vPvB と特定していない。

12.6 内分泌かく乱特性

追加情報なし。

12.7 その他の有害影響

水生生物に有害。環境への放出を避ける。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

適用される地方及び国の法令並びに許可を受けた廃棄物処理業者の指示に従い、内容物及び容器を安全に処分する。残留物を排水又は環境へ放出しない。空容器にも残留物がある可能性を考慮する。

14. 輸送上の注意

利用可能な組成及び物理化学的データに基づき、Reducompact は日本国内の適用輸送規制上の危険物として規制されない。消防法及び適用陸上輸送規則、船舶安全法及び危険物船舶運送及び貯蔵規則、航空法及び航空危険物輸送基準を考慮した。H402 分類のみでは危険物輸送分類を生じない。本製品は IMDG 又は IATA でも危険物として規制されない。

項目	日本国内陸上輸送	IMDG／日本国内海上	IATA／日本国内航空
14.1 国連番号	非該当	非該当	非該当
14.2 品名（国連輸送名）	非該当	非該当	非該当
14.3 国連分類	非該当	非該当	非該当

項目	日本国内陸上輸送	IMDG／日本国内海上	IATA／日本国内航空
14.4 容器等級	非該当	非該当	非該当
14.5 環境有害性	いいえ	海洋汚染物質ではない	いいえ
14.6 使用者のための特別な予防措置	容器を密閉して確実に積載し、凍結及び 30 °C を超える温度から保護する。	容器を密閉して確実に積載し、凍結及び 30 °C を超える温度から保護する。	容器を密閉して確実に積載し、凍結及び 30 °C を超える温度から保護する。
14.7 IMO 文書に従ったばら積み海上輸送	非該当	IMO 文書によるばら積み輸送を意図しない	非該当

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規制

- GHS 分類：JIS Z 7252:2025。ラベル及び SDS：JIS Z 7253:2025。
- 適用法令：労働安全衛生法、PRTR 法、化審法、毒物及び劇物取締法、消防法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、船舶安全法及び航空法（該当する場合）。
- 国内輸送：消防法、船舶安全法及び危険物船舶運送及び貯蔵規則、航空法及び航空危険物輸送基準。
- 現在の混合物評価：JIS Z 7252:2025 による水生環境有害性 短期（急性）区分 3（H402）。

15.2 化学物質安全性評価

製品固有の化学物質安全性評価は実施していない。

16. その他の情報

分類方法

正確な機密配合、提供された原料 SDS、供給者が裏付けた濃度範囲及び JIS Z 7252:2025 の混合物規則を用いて計算分類した。水生環境急性加算法により区分 3（H402）となり、健康有害性及び長期水生環境有害性は分類されない。正確な配合及び計算は本公開 SDS には記載しない。

本 SDS で参照した危険有害性情報の全文

コード	危険有害性情報
H301	飲み込むと有毒。
H302	飲み込むと有害。
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H310	皮膚に接触すると生命に危険。
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H315	皮膚刺激。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H318	重篤な眼の損傷。
H319	強い眼刺激。
H330	吸入すると生命に危険。
H332	吸入すると有害。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い。
H400	水生生物に非常に強い毒性。
H402	水生生物に有害。
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
H411	長期継続的影響によって水生生物に毒性。
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害。

危険有害性区分及びその他の略語

略語	意味
Acute Tox.	急性毒性
Aquatic Acute / Aquatic Chronic	水生環境有害性-短期（急性）／長期（慢性）
Asp. Tox.	誤えん有害性
ATE	急性毒性推定値
BIT	1,2-ベンズイソチアゾール-3(2H)-オン
Bronopol	2-ブロモ-2-ニトロプロパン-1,3-ジオール
CAS	Chemical Abstracts Service 登録番号
CMIT/MIT	クロロメチルイソチアゾリノン及びメチルイソチアゾリノン反応混合物（3:1）
EC50 / LC50 / LD50	半数影響濃度／半数致死濃度／半数致死量
Eye Dam. / Eye Irrit.	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
GHS	化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
IATA / IMDG / IMO	国際航空運送協会／国際海上危険物規程／国際海事機関
log Pow	オクタノール／水分配係数の対数
M-factor	強い水生毒性物質に用いる乗率
Muta.	生殖細胞変異原性
PBT / vPvB	難分解性・生物蓄積性・毒性／極めて難分解性・高い生物蓄積性
SDS / MSDS	安全データシート／製品安全データシート
Skin Corr. / Skin Irrit. / Skin Sens.	皮膚腐食性／皮膚刺激性／皮膚感作性
STOT SE	特定標的臓器毒性（単回ばく露）
UN	国際連合
VOC	揮発性有機化合物

教育上の助言

使用前に、安全な取扱い、漏出対応、個人用保護具及び衛生措置について作業者を教育する。

免責事項

本情報は健康、安全及び環境上の目的で製品を説明するものであり、製品特性を保証するものではない。供給された状態の製品にのみ適用し、他の材料との併用又は別工程では適用できない場合がある。